

勢和小学校だより

明日も行きたくなる勢和小 ～楽しく笑って過ごせるように、やって、考え、工夫しよう～



発行日：令和7年7月11日 第15号

地域の皆さんのおかげで子どもたちの交通安全が確保されています

6月末、子どもたちの登下校に関わってくださっている交通安全ボランティアの皆さんが集まり、交通安全に関する会議を開催しました。

会議で話題に挙がった一例を紹介します。

- 地域の方に、もっと挨拶をしてほしい。
- 通学中、子どもたちが時間を把握できるように時計が必要。
- 通学団会議の議題を、交通安全ボランティアにも伝えることで、地域でも同様の指導ができる。
- 上・下出江地区の児童が勢和大橋の危険を避けるため、下校時にスクールバスを利用できるようになるといい。
- 勢和駐在所の森脇さんがほぼ毎日、勢和大橋の登校を巡回してくれ、ありがたい。
- 勢和大橋近くの下出江ゴミステーション等の位置を道路から遠ざけるよう役場に要望したが、実現していない。自転車通学の中学生が車道に出てしまうことがあり注意が必要。

本校には各地区に子どもたちの登下校を見守ってくださっている地域の方々がたくさんいてくださり、子どもたちの安全を確保できています。大変ありがとうございます。

子どもたちの挨拶に関しては、学校でもその大切さについて再度、指導していきます。

いじめや差別をなくすためには、知識のアップデートと無関心にならないこと

「いじめや差別はいけないこと。」と誰もが理解していますが、いじめや差別は発生しています。

現在の学校教育では、「いじめや差別はいけないこと」で、終わらせることなく、更にもう一歩進めることが強く求められています。

その一歩とは以下のとおりです。

- 何がいじめ（差別）なのかが、分かるようになること
- 自分との関わりを考えられること（無関心、無関係でないこと）
- いじめ（差別）解消に向け行動すること

【裏面につづく】

これらの指導・支援は、被害側・加害側だけに終わらせることなく、周りへの子どもたちへの指導・支援が必要だということです。いじめ（差別）に中立性はなく、「いじめ（差別）に賛同するか」、「いじめ（差別）と闘うか」について周りの子どもたちにも意識させ、いじめ（差別）を許さない雰囲気を創り上げていくことが求められています。

人権問題に関しては、女性や子ども、障害者、外国人をはじめとして、人権侵害を解消する数多くの法令や条例が個別に制定されてきています。少し前なら問題にならなかったことが、現在はコンプライアンスに反していることになっていることもあります。また最近では、企業にも人権侵害を放置しないことが求められるようになっており、改善が進まない場合には契約不履行等にもつながっているようです。

私たち大人も、何がいけないことなのかについて、知識をアップデートしていかないと、知らない間に相手を傷つけてしまうことがあります。「男のくせに泣くな。」は性別役割分担の押しつけであり、ジェンダーハラスメントとして問題視されます。外国人に対して「日本語が下手だから仕事ができない」という認識は、多様性を尊重する社会において、国籍や言語能力を理由にした重大な問題になります。

「それはダメでしょ。」と気づける知識をアップデートし、問題を解消しようと行動することの大切さは、子どもたちにも、私たち大人にも必要なことです。

1週間のうち、どこかで図書室を訪れよう



6月末のある日、本の借り換えをする子どもたちが朝から図書室を訪れていました。図書用の手提げ鞆から数冊の本を出して、司書に感想を話している人や、リクエストしている本が借りられるのか尋ねている人がいました。当時は図書委員会が企画した読書ビンゴの取組中で、「縦横斜めでビンゴができた。」と喜んでいる人、席について本を広げている人など、それぞれの目的で図書室を訪れていました。

6月末から始めた朝読週間や前述の読書ビンゴなど、本校では様々な読書推進活動を行っています。1週間のうち、どこかで一度は図書室を訪れ本棚を眺めたり、司書や友達と話したりしてみると、掘り出し物が見つかるなど、読書の楽しさに気づけることと思います。

各学年の社会見学・修学旅行の行き先・期日

- 6年生…京都（金閣寺、清水寺ほか）10月9日～10日
- 5年生…菅島（海島遊民くらぶ）10月24日
- 4年生…伊賀（忍者屋敷、組紐）10月3日
- 3年生…伊勢（マスヤ MEGA ドン・キホーテ伊勢上地店）11月28日
- 2年生…大内山（大内山動物園、キノコランド）10月24日
- 1年生…鳥羽（水族館）9月26日

